FUJIFILM

instax mini 30
インスタントカメラ

チェキ i

●背景もキレイに写せる i フラッシュ
●セルフタイマー搭載

チェキ＝CHECK IT(要チェック、おもしろい・役に立ちそうだから覚えておく、記録しておくなどの意味)を短縮した造語

使用説明書・保証書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルム インスタントカメラ instax mini 30の使い方がまとめられています。
内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

FUJIFILM　富士写真フイルム株式会社

●本製品についてのお問い合わせは…

富士フイルム札幌営業所	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）218-5575
富士フイルム仙台営業所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）216-6960
富士フイルム東京販売部	〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30	TEL（03）3406-2387
富士フイルム名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL（052）203-5262
富士フイルム大阪支社	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL（06）6205-6421
富士フイルム広島営業所	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）250-0755
富士フイルム福岡営業所	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-0255

●修理の受付は…

札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
富士フォトサロン・東京	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
富士フォトサロン・大阪	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。
●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL（03）3406-2981

FUJIFILM　**保証書**

製品名　**instax mini 30**　ご購入年月日　年　月　日

お名前　様　TEL

ご住所

店名印

Printed in China　BB14138-101　FGS-204103-Ni-02

このようなときは…

■撮影中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
シャッターが切れない。	① 電池が消耗している。 ② 電池の入れ方が間違っている。 ③ フラッシュ充電中表示ランプ(赤)が点灯している。 ④ 電源ONのまま何も操作をしないで5分以上放置していた。 ⑤ フィルムカウンターが"0"になっている。	① 電池を交換します。 ② 電池を正しく入れてください。 ③ 消えるまでお待ちください。 ④ POWERボタンを押して、電源を入れてください。フラッシュ充電中表示ランプ(赤)が点灯後、消えれば撮影できます。 ⑤ フィルムパックを取り出し、新しいフィルムパックを入れてください。
フィルムが入らない、またはスムーズに入らない。	① 撮影しようとしているフィルムパックがこのカメラに適合しない。 ② 入れ方が正しくない。	① フジフイルム インスタント カラーフィルム instax miniを使用します(他のフィルムは使用できません)。 ② フィルムパックの黄色の線とカメラの位置合わせマーク(黄)を合わせて入れます。
フィルムカバーまたはフィルムが送り出されない。	● 電池が消耗している。	● 電池を交換します。

■出来上がった写真がこのようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
出来上がった写真が白っぽい。	① 濃淡コントロールがⓁ[LIGHTEN]にセットされている。 ② 撮影時の温度が低い(5℃以下)。 ③ 背景が被写体より暗すぎる。 ④ AE受光窓、またはフラッシュ受光窓をふさいでいた。 ⑤ 背景の明るさが十分な場所で i フラッシュモードになっていた。	① 濃淡コントロールを[NORMAL](表示なし)にセットします。 ② 撮影前のカメラを暖かい場所に置いてから撮影してください。また、送り出された写真をポケットの中などで温めます。 ③ 濃淡コントロールをⒹ[DARKEN]にセットします。 ④ AE受光窓、フラッシュ受光窓をふさがないように、カメラの構え方に注意してください。 ⑤ i フラッシュモードを解除してください。
出来上がった写真が暗い。	① 濃淡コントロールがⒹ[DARKEN]にセットされている。 ② 撮影時の温度が高い(40℃以上)。 ③ 逆光で撮影した。 ④ フラッシュ発光部がふさがれている。 ⑤ 背景が被写体より明るすぎる。 ⑥ フラッシュの光が届かない。 ⑦ 鏡やガラスなどによるフラッシュ反射光の影響を受けている。	① 濃淡コントロールを[NORMAL](表示なし)にセットします。 ② カメラを涼しい場所に置いてから撮影してください。また、送り出された写真を熱いものの上や近くに置かないでください。 ③ 順光撮影を行うか、 i フラッシュモードでフラッシュ撮影を行ってください。 ④ カメラの構え方に注意してください。 ⑤ 濃淡コントロールをⓁ[LIGHTEN]にセットします。 ⑥ 被写体から0.6m～3mの範囲に近づいて撮影します。 ⑦ 鏡やガラスに対して斜め方向から撮影します。
画面がぼんやりしている。	① 撮影距離が近すぎる。 ② 撮影距離の設定が適切でない。 ③ 撮影レンズが汚れている。 ④ 手ブレのため。	① 0.6m以上離れて撮影します。 ② 被写体の距離に合わせて撮影距離をセットします。 ③ レンズをきれいにします。 ④ カメラをしっかり構えて、ゆっくりシャッターボタンを押します。室内や暗い屋外で i フラッシュモードをご使用になる場合には、スローシャッターになりますので、テーブルや三脚などを利用してカメラを固定することをおすすめします。
画面にむらがある。	① 取り出してすぐ写真に圧力が掛かった。 ② 写真がスムーズに送り出されなかった。	① 画面内を押さえたり、曲げたりしないでください。 ② フィルム出口を指などでふさがないでください。
ファインダーでねらったものとズレて写った。	● 撮影距離が近すぎる。	● 0.6m以上離れて撮影します。

安全にご使用いただくために

● この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
● 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
● この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告	⚠ 注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警　告

- 絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。
- 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。
- カメラ(電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります(電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください)。
- フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。
- カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。
- 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。
- カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。
- 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。
- 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。
- 付属の接写レンズを通して太陽を見ないでください。失明の恐れがあります。

⚠ 注　意

- カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- 新しい電池と古い電池、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。また、電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- カメラの内側の可動部に触れないでください。けがの原因となることがあります。
- 付属の接写レンズを太陽光の当たる場所に放置しないでください。太陽光が集光した場合には高温になり、発火ややけどの原因になる恐れがあります。

CE　このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU(欧州連合)の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。(CEとはヨーロッパ認定(Conformité Européenne)の略)

主な仕様

使用フィルム	フジフイルム インスタントカラーフィルム instax mini
画面サイズ	62mm×46mm
レンズ	沈胴式フジノンレンズ　3群3枚構成　f=60mm　1：12
ファインダー	実像式ファインダー　0.37倍　ターゲットマーク付き
距離調節	電動2点切り替え式(0.6m～3m／3m～∞)　撮影範囲：0.6m～∞
シャッター	プログラム式電子シャッター　1/30秒～1/400秒　低輝度 i フラッシュモード時：1/3秒 2シャッターボタン(縦位置撮影／横位置撮影)
露光調節	自動調節　連動範囲：LV10.0～15.0(ISO 800)　露光補正(濃淡コントロール)：±2/3EV
フィルム送り出し	電動式
フラッシュ	低輝度自動発光オートフラッシュ(自動調光)　 i フラッシュモード(スローシンクロ／強制発光) 充電時間：0.2秒～5秒(新品電池使用時)　フラッシュ充電中表示(赤LED点灯)　フラッシュ撮影距離：0.6m～3m
セルフタイマー	電子式　作動時間：約10秒　途中解除可能　セルフタイマーランプ付き
液晶表示	フィルムカウンター(残数表示式)　遠距離撮影マーク　 i フラッシュモード　濃淡コントロール
電源	リチウム電池 CR2 2本　撮影可能パック数：約30パック(当社試験条件による)
その他	三脚ねじ穴、フィルムパック確認窓付き
大きさ・重さ	122.0mm×106.0mm×52.0mm(突起部除く)　325g(電池、ストラップ、フィルム別)

＊ 仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

取扱上のお願い

■カメラの取り扱い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
2. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
3. 三脚を使用するときは、三脚の強度をご確認の上、カメラ本体ではなく三脚の方を回して取り付けてください。三脚を取り付ける際は、三脚のねじを回しすぎたり、無理な力を加えないようご注意ください。
また、カメラを三脚に取り付けたまま持ち運ばないでください。けがをしたり、カメラを破損する恐れがあります。
4. 長期間お使いにならないときは、電池を取り出して、湿気、熱、ほこりの影響の少ないところに保管してください。
5. レンズ、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。
6. 汚れをふきとるのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
7. フィルム室に汚れやほこりがあると、フィルムを傷つけることがあります。特にカメラ内部の清掃は常に心掛けてください。
8. 閉めきった自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
9. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
10. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
11. このカメラの使用温度範囲は+5℃～+40℃です。

■フィルム、写真の取り扱い

1. フィルムは、涼しい乾燥した場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く撮影してください。
3. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
4. フィルムは有効期限内にお使いください。
5. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをおすすめします(詳しくは各空港でご確認ください)。
6. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。

＊ 外から入った異物や、フィルムからもれた液によってローラーが汚れた場合は、富士フイルムサービスステーションにご相談ください。

製品保証規定

1. 保証の内容
ご購入後1年以内に万一この製品が故障したときは、この保証書を添えてご購入店または弊社サービスステーションにお届けください。無料で修理いたします。なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましては、通常の輸送方法と異なる方法をとった場合(定期便以外を使用した場合)は一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は保証期間内でも上記1. の保証規定は適用されません(修理可能の場合は有料で修理をお引き受けします)。
イ. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
ロ. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または記載事項を訂正された場合。
ハ. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
ニ. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
ホ. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
ヘ. 本体に付帯している付属品類(ストラップなど)および消耗品(電池類など)。
ト. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
チ. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。
3. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失、精神的な損害など)の補償には応じかねます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■ ご注意
1. 本保証書は前記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本保証書の表示についてご不明の点は、使用説明書、カタログなどに記載されている弊社営業所やサービスステーションにお問い合わせください。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、下記に記載のお近くの弊社営業所やサービスステーションをご利用ください。

● 無料修理
故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
＊ 詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

● 有料修理
保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

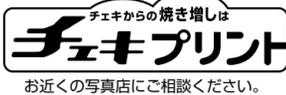
● 修理不能
浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理部品の保有期間
この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理ご依頼に際してのご注意
1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは6,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

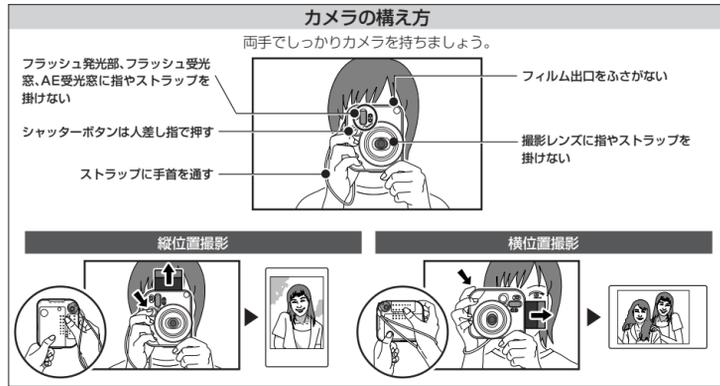
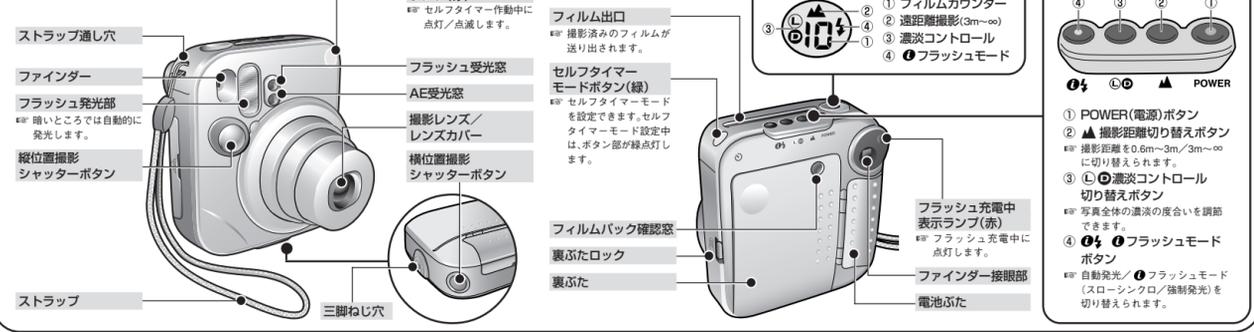
● 海外旅行中の故障
海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外支店または各国の富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外支店、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

便利に楽しくお使いいただくために

● 焼き増しや引き伸ばしもできます ●

チェキからの焼き増しは
チェキプリント
お近くの写真店にご相談ください。

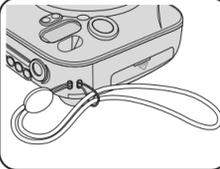
● 書き込みができます ●

水性以外の筆記用具で写真の余白に書き込みができます。

各部の名称

撮影の準備

＊ 電池を入れる前にフィルムパックを入れると、フィルムカウンターが誤作動することがあります。
＊ フィルムパックをセットした後は、絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムが感光する恐れがあります。

1 ストラップを取り付けます

＊ 落下防止のため、持ち運んだり撮影するときはストラップに手首を通してください。

2 電池を入れます

■使用する電池

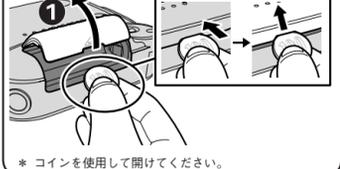
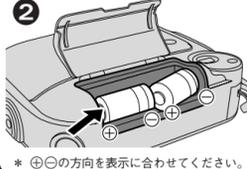
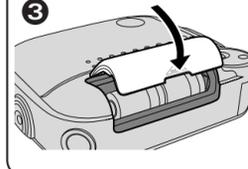
リチウム電池　フジフイルムリチウム CR2　2本

● 2本とも、新しい同じ銘柄・種類のものを使用してください。
● フィルムパックを入れる前に電池を入れてください。
＊ 新しい電池で約30パック撮影できます（当社試験条件による）。

電池ぶたを開けます

＊ コインを使用して開けてください。

電池を入れます

＊ ⊕⊖の方向を表示に合わせてください。

電池ぶたを閉めます

電池の交換時期

● 電源を入れてもレンズ部が動かないとき
● フラッシュの充電に約6秒以上かかるとき
● シャッターが切れないとき
＊ 2本とも新しい電池に交換してください。

3 フィルムパックを入れます

電池が入っていることを確認してから、直射日光を避けて行ってください。

■使用するフィルム

フジフイルム　インスタントカラーフィルム
instax mini（チェキ用フィルム）

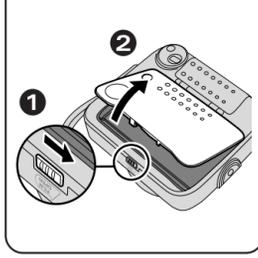
● 他のフィルムは使用できません。
＊ フィルムパックには1枚の黒いフィルムカバーと10枚のフィルムが収納されています。
＊ フィルムパックはカメラに入れる直前に内装袋から取り出してください。
＊ フィルムカバー、背面2カ所の長方形の穴は絶対に押さないでください。

裏ぶたを開けます

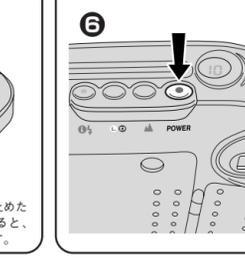
フィルムパックを入れます

❸ フィルムパックの左右を持ちます。
❹ フィルムパックの黄色の線をカメラ内部の黄色の線に合わせます。

＊ まっすぐ落とし込むように入れてください。

裏ぶたを閉めます

＊ ひといきで閉めてください。途中で止めたり、完全に閉まる前に開け閉めすると、フィルムが感光する恐れがあります。

電源を入れます

フィルムカバーを取り除きます

❼ シャッターボタンを押します。
❽ フィルムカバーを取り除きます。

撮影しよう

1 電源を入れます

POWERボタンを押します

＊ 電源を入れたまま約5分間放置すると、電源は自動的に切れます。

● 電源を入れたときには、次の設定になります。

撮影距離：0.6m〜3m（表示なし）
濃淡コントロール：NORMAL（表示なし）
フラッシュ：自動発光（表示なし）

＊ 設定は各ボタンを押すと切り替わります。
＊ シャッターを切っても設定は変わりません。電源が切れると、上記の初期設定に戻ります。

2 撮影距離を設定します

近距離(0.6m〜3m)の場合

人物や屋内での撮影

電源を入れると、撮影距離は0.6m〜3mに設定されますので、そのまま撮影します。

遠距離(3m〜∞)の場合

屋外などの遠方撮影

▲ ボタンを押して、"▲" 3m〜∞に設定します。

＊ シャッターを切っても設定は変わりません。

3 構図を決めます

＊ 最短撮影距離は0.6mです。
＊ フラッシュ光が届く範囲は、0.6m〜3mです。
＊ 指やストラップなどが撮影レンズやフラッシュ発光部、フラッシュ受光窓、AE受光窓に掛からないようにしてください。

● ファインダー内の中央にある○を目安に構図を決めます。

4 シャッターを切ります

● フラッシュ充電中表示ランプ(赤)が点灯しているときはフラッシュ充電中です。暗いところなどでのフラッシュ撮影時には、フラッシュ充電中表示ランプがいったん点灯し、その後消灯したことを確認してシャッターを切ってください。

5 フィルムが送り出されます

＊ フィルム出口を指などでふさがないでください。

6 フィルムを取り出します

＊ 撮影したフィルムは、その都度取り出してください。
＊ 必ずモーターの音が止まってからフィルムの先端を持って取り出してください。

フィルムパックを取り出す

最後の1枚を撮り終わると、"0"が表示され、シャッターが切れなくなります。

フィルムパックを取り出します

フィルムや出来上がった写真を取り扱うときは…

写真の仕上がり

5℃から40℃の温度でご使用いただくと、よい写真が得られます。

＊ 気温が低いときには、すぐに上着のゆったりしたポケットの中などで約30秒間温めてください。
＊ 極端に熱いところに置かないでください（熱い砂やコンクリートの上、ストーブの近くなど）。

＊ 撮影直後の写真は、画像が安定するまで直射日光を避けてください。また、写真を振る、曲げる、押さえる、こするなどしないでください。

美しい写真は、"初めの30秒間の温度"が大切です。

フィルムが残っている状態では、絶対に裏ぶたを開けないでください。

＊ フィルムが感光する恐れがあります。
＊ フィルムカウンターがリセットされ、正しい撮影可能枚数が表示されません。

☒ 注意

● このフィルムの内部には、黒色の腐食性(高アルカリ性)の液が含まれています。撮影後、約10分間でアルカリ性は弱まりますが、未使用のフィルムや撮影直後の写真を扱うときは、次のことを守ってください。

万一、この液が皮膚や衣服などについたときは、速やかに水で充分洗ってください。また、目や口に入った場合はただちに多量の水で充分洗った後、医師の診断を受けてください。

1歩進んだ使い方

1 🅘ϟ 🅘フラッシュモード

🅘フラッシュモードは、周囲の明るさに応じて自動的にシャッタースピードが切り替わるフラッシュモードです。
● 背景をより明るく写したいとき
● 逆光で被写体をきれいに撮りたいとき　　などに使用します。

🅘ϟボタンを押すと、🅘フラッシュモードに切り替えられます。

＊ シャッターを切っても設定は変わりません。

背景の明るさが不足気味の場合、スローシャッターになり、フラッシュが発光します（スローシンクロ）。

＊ スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため、テーブルや三脚などを利用してカメラを固定することをおすすめします。
＊ このモードでは、背景の色は照明の影響を受けやすくなります（蛍光灯下では青緑っぽく、タングステン灯下では赤っぽく写る場合があります）。
＊ 背景が暗すぎると効果が出ない場合があります。

明るいところでもフラッシュが発光します（強制発光）。

2 セルフタイマーモード

❶ ボタンを押します。

＊ 約5分間何も操作しないと、自動的にセルフタイマーモードは解除されます。

❷ 構図を決めてシャッターボタンを押します。

＊ スタートしたセルフタイマーモードを解除したいときは、ボタンを押すか、電源を切ってください。

フラッシュを上手に使うには…

● 鏡やガラスなど、光を反射させるものがあるときは、少し斜めから写すなど、反射光がカメラに入らないように工夫しましょう。

● 二人以上の人物を撮影するときは、カメラからそれぞれの人物が同じ距離に並んで、均等にフラッシュ光が当たるようにしましょう。

3 ⓁⒹ 濃淡コントロール

ⓁⒹボタンを押すと、写真全体の濃淡の度合いを調節できます。

＊ シャッターを切っても設定は変わりません。
＊ 写真全体の濃淡の度合いは、周囲の明るさや気温などに影響されます。
＊ 出来上がった写真の濃淡の度合いにより、濃淡コントロールを調節してください。

DARKEN（暗くする）　NORMAL（通常）　LIGHTEN（明るくする）

写真全体が暗めに撮影されます。
● 被写体が白っぽく写ったときに設定してください。

通常はこの設定で撮影します。

写真全体が明るめに撮影されます。
● 被写体が暗い感じに写ったときに設定してください。

付属品の使い方

簡易接写レンズの使い方（40cm〜60cmの距離で接写が出来ます）

●取り付け方

TOPマークが上にくるようにして、まっすぐはめ込みます。

＊ 正しくはまると、「カチッ」と音がします。

●取り外し方

親指で横にずらしながら引き起こして外します。

＊ 撮影が終わったら、レンズを取り外してください。

取り付け時・取り外し時・使用中には、レンズを回転させないでください。レンズのツメが壊れる恐れがあります。

●撮影

❶ カメラの撮影距離を0.6m〜3m（▲ 表示なし）に設定します。

❷ カメラと被写体の距離が40cm〜60cmになるようにします。

＊ 45cm〜50cmで撮影すると、最適なピントが得られます。

❸ 構図を決めます。

● ファインダーから見える範囲と実際に写る範囲にズレが生じます。
● 写したい範囲を決めたら、下のようにファインダーをずらして、シャッターを切ります。